

私たちNPO法人「ロシナンテス」の名前は、小説「ドン・キホーテ」に出てくるドン・キホーテが乗る痩せ馬のロシナンテに由来しています。「私たち一人一人は痩せ馬ロシナンテのように無力かもしれないが、ロシナンテが集まり、ロシナンテスになれば、きっと何かできるはずだ！」と考え、「ロシナンテス」と名付けました。今後もこれを信念として一歩一歩歩んで参ります。



ANNUAL REPORT

2018.4-2019.3



認定NPO法人 ロシナンテス 年次報告書

2018年度

認定NPO法人ロシナンテス

〒802-0082 福岡県北九州市小倉北区古船場町1-35 北九州市立商工貿易会館7F
TEL:093-521-6470 FAX:093-521-6471 ✉info@rocinantes.org

「医」を届ける、を諦めない。 心は、スーダンの人々とともに。

ご挨拶

スーダンの人々のために、ロシナンテスを応援してくださり誠にありがとうございます。ロシナンテスは設立以来、病院がなく電気の通ってないような地域に巡回診療、診療所、女子小学校、そして給水所の建設、さらに助産師の教育などの「医」を届けてきました。

20年来の内戦、停戦合意から南スーダンの独立、米国からの経済制裁にテロ支援国家の指定、経済状況の悪化から反政府デモが続くスーダンで、なぜ支援を継続するのか？北コルドファン州で給水所が完成した村からの帰り道に考えました。

その村の給水所に集まり一生懸命に水汲み作業をする人々には、笑顔が広がっていました。遠くまで水汲みに行く必要がなくなったことで、「お父さんが学校に通っていいって」と6歳の男の子が声を

弾ませ、「勉強する時間が増えたので、頑張って医師になりたい」と12歳の女の子が夢を語ります。

また、この日はラマダン。砂漠の中の本道を運転する帰り道、ボツンとドライブインらしきものを見つけ、車を止めて、すでに集まっている人たちの輪に加わります。地平線に沈みゆく太陽と橙色に染まった空の下、ラジオから聞こえる祈りの声で、みなが一斉にナツメヤシを口にし、バケツに入った水を飲み、器に盛ってあるアシーダ(発酵食品)を食します。この日没後の食事イフタルの後は、一人のリーダーを前にして列を作ってお祈りです。私はイスラム教徒ではありませんが、同じように祈りに加わることで、自然と感謝の気持ちが沸き起こります。彼らは食事の代金を受け取らないばかりか、コーヒーまで振る舞ってくれ、「道中、気を付けて」と見送られ、私は胸が熱

くなるのを感じます。決して裕福でない彼らからのおもてなし。厳しい環境の中、人々が生きていくための基本的な姿が、ここにあるように思えます。

子ども達の笑顔や、人々のやさしさに触れるたびに、支援活動を続けてよかった、今後も継続したいと強く思うのです。この年次報告書が、2018年度の活動をご報告するとともに、私が愛するスーダンを知っていただく機会になればと思います。

スーダンは、政治そして経済的に大変な時期にありますが、スタッフの身の安全に最大限の配慮をしつつ、支援活動を継続させていきたいと思っています。今後もロシナンテスへのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

川原 尚行

ロシナンテスとは

病院がない。医者がいない。

途上国には、厳しい現実がまだまだ存在します。

ロシナンテスは、そのような地域に暮らす人たちに医療を届ける活動を続けています。医療施設のない村々を回って医療を提供し、国や地域と協力しながら診療所をつくり、給水所の整備や学校建設、栄養改善など、包括的な保健事業を整備することで、現地の人たちだけで医療を継続できる仕組みづくりをしています。これまで主にスーダンでこの仕組みを整備し、スーダンの人々が「医療」を自分たちのものにするための支援をしています。

〈ビジョン〉

目指す将来像

支援した地域の人たちが、
「医療」を自分たちのものとし、
地域の人たちだけで医療を継続できる
仕組みが根付いている世界。

Value

〈バリュー〉

活動理念

目の前で困っている人を助ける
家族の絆と地域の和を大切にする

ひとはみんなの為に、
みんなはひとりの為に

Vision

Mission

〈ミッション〉

使命・役割

病院が無いなどの理由で、
必要な医療が受けられない地域に、
医療が届く仕組みを整備することで、
一人でも多くの命を救う。
そして、誰もが健やかに生きることが
できる環境をつくる。

激動のスーダン

2019年4月11日、スーダンにおいて30年間実権を握ってきたバシール前大統領の解任が発表されました。

2018年12月19日、パンの値段が3倍に引き上げられたことに対する抗議デモが地方都市アトバラで起こり、瞬く間にスーダン全土へ広がりました。その後、経済の混乱を招いた責任は大統領にあると、バシール前大統領の退陣を求めるデモが拡大。最終的には軍が民衆に同調する形で、今回の解任へとつながりました。

このデモは、大学教員、ジャーナリスト、弁護士、医師らによって構成されたスーダン専門職組合 (SPA, Sudanese Professionals Association) などが指導したもので、4か月以上に及び非暴力に徹して継続されてきました。

一部報道では軍によるクーデターとなっています。しかし実際は、民衆が反政府デモを継続したことで、大統領の指揮下にあった国軍が民衆側に賛同したというもので、民意の勝利と言えます。

バシール前大統領とスーダン

1989年に、クーデターによって軍事政権を成立させたバシール前大統領は、30年にわたり強権的に支配する体制を敷いてきました。2005年には内戦が勃発、2011年にスーダン南部が南スーダンとして独立しました。また西部ダルフール地方で起こった紛争では、大量虐殺に関与したとして、「戦争犯罪」と「人道に対する罪」の疑いで国際刑事裁判所 (ICC) から逮捕状が出されていました。

1989	大統領に就任
1990代	国際テロ組織アルカイダ首領だった故ウサマ・ビンラディン氏を匿う
1993	スーダンが米国より「テロ支援国家」に指定される
2003	ダルフール紛争勃発 (犠牲者は30万人以上)
2009	国際刑事裁判所がバシール前大統領に逮捕状を発行
2011	南スーダン独立
2017	米国から対米協力や人道支援での譲歩が評価され、20年以上続いた経済制裁は解除される

スーダンの政権交代について

実はスーダン、今回だけでなく、過去にも複数回クーデターや民衆蜂起による政権崩壊が起こっている国です。

1958	アブード軍事政権樹立
1964	アブード軍事政権崩壊
1969	ヌメイリ政権樹立
1985	ヌメイリ政権崩壊
1989	バシール軍事政権樹立
2019	民衆蜂起によるバシール政権崩壊



混乱する国内をまとめ上げるために独裁政権が始まりますが、経済状況が悪化→国民の生活も悪化→食料品を安くするために政府が補助金を出す→財政がおかしくなり経済状況がさらに悪化→食料品の値上げ→それに対して人々が耐えられなくなり…というサイクルを繰り返してきました。

今回の政権崩壊も、パンの値上げに対する抗議デモが行われたことがきっかけとなったわけですが、このパンの値上げの直接的な原因は、政府が今まで出してきた小麦の補助金を撤廃すると発表したためでした。



デモを行っている広場に車が入れないようにするバリケード



現金を引き出すためのATMには日々長蛇の列ができていた

援助が生んだデモ？パンの値上げの背景

ソルガムという粉から作るキスラやアスィダといった伝統的な主食をしのぐ勢いで、スーダンの食卓になくはならないものになっているパン。地理的に農作物の栽培に適さない土地であるスーダンで小麦から作るパンが主食に躍り出たのは、海外からの援助が大きく関係していました。

1974年、返済期間の長いローンと国際食料援助を利用することにより、スーダンでは小麦供給量が増加。同時に、スーダン政府が小麦に補助金を設けたことで、ソルガムより安価で小麦粉が出回るようになりました。この補助金撤廃に伴い、スーダン人の食卓の必需品とまでなったパンの価格が突然値上がりし、各地でデモが激増した要因のひとつとなったのです。スーダンの食料事情を助けるために実施された国際食料援助は、国の食料供給を後戻りできない外部依存体質へと導いたとも言えます。

今回の政権崩壊へつながる大きな流れ

クレジットカードが使えない現金社会にもかかわらず現金の引き出しが難しい状態が続いたり、水や生活用品の価格も日に日に高騰したりと、国民の生活は厳しくなっていました。こうした不満に後押しされて勢いづいた抗議活動の矛先は、一向に改善されない経済状況と、その背景にある独裁体制へ向けられることとなりました。



新しい政治体制のもと、スーダンに平和が定着し、人々に笑顔が広がることを願いつつ、ロシナンテススタッフがー丸となって、スーダンの人たちと力を合わせて、地域社会へ医療を届けられるように引き続き尽力していきます。

私が大使館の医務官としてスーダンに赴任してきたのが2002年。まだ内戦の最中でした。それから17年、スーダンの状況は劇的に変化してきています。2005年、内戦終結後にスーダン第一副大統領に就任した南部出身の指導者ジョン・ギャランが航空機事故で亡くなり、国中が大混乱になりました。その後6年間の暫定政権を経て、2011年、南スーダンが分離独立し、スーダンの主な収入源である原油のほとんどが南スーダンの所有となりました。2017年、20年続いた米国からの経済制裁が解除されましたが、スーダンの経済状況は改善せず、民衆蜂起からの大統領退陣へとつながりました。独裁を30年間継続してきたバシール大統領を平和裡に退陣に追い込んだ民衆の力には驚かされるばかりです。大統領解任直後には、2年間暫定的に政権を運営し、その後民主的な選挙を行う予定であることがアナウンスされましたが、軍評議会と民衆の交渉が長引いており、まだまだ先行きが不透明な状況です。とにかく少しでも良い方向へ向かうことを願います。 理事長 川原尚行

スタッフの声

スーダン駐在スタッフ
神野志帆

長時間並んでも引き出せるかわからない現金、一晚並んでやっと手に入るガソリン。食料品や燃料価格が日に日に高騰していく一方、変わることもない収入額。スーダンの人々は、ずっと静かに耐え、本当に我慢していたように思います。それでも非暴力に徹し平和裡に抗議活動を続けたこと、そして自分たちの力で国を動かしたことは本当にかっこよく尊敬に値するものだと思います。

大統領退陣について生放送が行われた4月11日の朝、首都ハルツームではスーダンの人々の歓喜に満ちた声が響き渡っていました。嬉し涙をこぼす顔や喜びを叫ぶ顔があふれ、抱き合う人々がいました。心の底から喜びが湧き上がる時、人はこんなにも美しく輝くのかと思い知らされました。安定しない治安状況は今もなお続いています。が、優しく誠実で強く寛大なスーダンの人々が、1日も早く民主的且つ平和で安全な生活を得られるよう願うばかりです。

医療が継続できる 仕組みをつくり、受け渡す

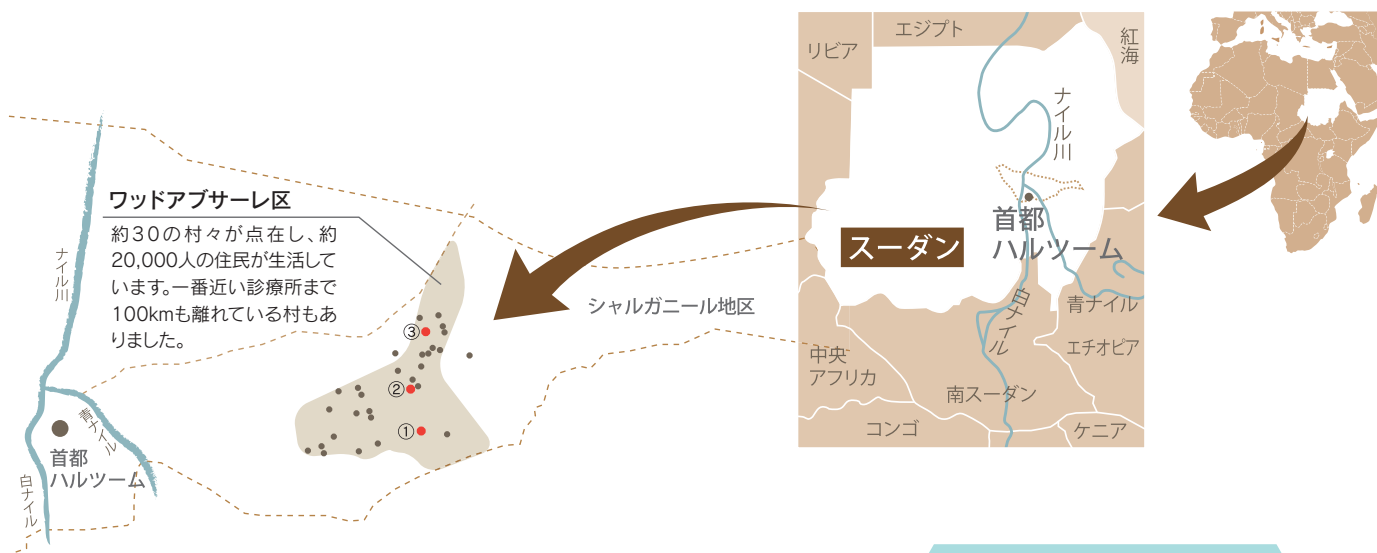
ロシナンテスは、医療施設のない村々を回って医療を提供したり、
国や地域と協力しながら診療所をつくるだけでなく、
給水所の整備や学校建設、栄養改善など、包括的な事業を実施することで、
現地の人々だけで医療を継続できる仕組みづくりをしています。

01 診療所建設事業

巡回診療を行ってきたハルツーム州ワッドアブサーレ区において、より身近にいつでも医療を提供できるよ
う、「土とレンガの診療所プロジェクト」として、診療所建設を進めてきました。

保健省や住民と協議を重ね、3か所に診療所を建設しました。

①アルセレリア村 ②アルハムダ村 ③ワッド・シュウェイン村



2018年1月に3棟目が完成し、
無事すべての診療所を保健省へ引き
渡すことができました。とはいえ、薬の調
達やスタッフの雇用、電気や水の開通など、診
療所の運営開始に向けてするべきことは山積み
です。2018年度は、3棟の診療所の運営を軌道に
乗せるためのサポートを行いました。

現在アルセレリア村の診療所は順調に稼働して
いますが、アルハムダ村、ワッド・シュウェイ
ン村に関しては現在準備中の段階です。



- 1 マラリアの検査に訪れた親子(アルセレリア村)
- 2 必要な薬もそろっていました(アルセレリア村)
- 3 マラリア検査キット(アルセレリア村)
- 4 水が出るようになっていて!と喜ぶスタッフの
イスマット(アルハムダ村)
- 5 完成した建物(ワッド・シュウェイン村)

①アルセレリア村 マラリア検査キット
や各種薬なども常備され、順調に運営
されています。何度か視察で訪れた際
にも、多くの患者さんが訪れている様
子が見られました。

②アルハムダ村 スタッフは雇用できま
したが、水や電気の開通が遅れていたた
め、冷蔵が必要な薬が保管できない、屋
内が暗いために検査が難しいなどの課
題が残っていました。保健省へ働きかけ、
12月に水の利用ができるようになりました
が、電気は現在も申請中となっています。
簡易的な診療は行っていますが、本
格的な稼働は電気の開通を待ってから
となりそうです。

③ワッド・シュウェイン村 診療所が完
成し、運営準備を進めている段階です。
少しでも早い開設が実現するよう、引き
続き保健省に働きかけていきます。

日本では考えられないほど1つ1つに
時間がかかりますが、残り2つの診療所
に関しても、運営が軌道に乗るまでサ
ポートを行っていく予定です。

スタッフの 声

スーダン駐在スタッフ 寺田美知子

会議より会食の時間の方が長い、質問するたびに答えが違う、大
事な書類が行方不明、関係者に同じ名前の人(モハメドさん)が多
くてややこしい、連綿と続く文化や習慣…。こんなスーダンでは、物
事の進み方は日本に比べるとゆっくりですが、一人ひとりが少しず
つ行動することで、着実に前に進んでいます。「裏紙を使って、書類
のインデックスを作ってみた」「庭で野菜づくりを始めた」等々…。
事業の完了はもちろんですが、事業にまつわる「小さな一歩」を感
じられるのは、事業に携わっていて最も嬉しいことの一つです。



02 栄養改善事業

期 間	2018年 7月～12 月
地 域	スーダン共和国北コルドファン州オムダム・ハージ・アハメド地域
対 象	当該地域に居住する乳幼児及び妊産婦/授乳婦
方 法	栄養状態を簡易的に測定し、不良が認められた場合に栄養補助剤を配給する
実 績	2018年 乳幼児 1,904人、妊産婦/授乳婦 282人に栄養補助剤を配給した

2015年から北コルドファン州オムダム・ハージ・アハメド地域にて、国連WFP(世界食糧計画)と協働して行ってきた栄養改善事業が2018年12月で終了しました。このプログラムは、栄養不良の影響を受けやすい生後6か月から59か月までの子ども、そして妊産婦や授乳婦を対象に、7つのヘルスセンターで栄養状態の判定を行い、必要な治療が受けられるようにアドバイスをを行うものです。

具体的には、まず現地のヘルスボランティアが巻尺を用いて子どもや妊産婦・授乳婦の上腕回りを測定します。巻尺は緑・黄・赤に色分けされており、その色で栄養状態を判断します。そして、栄養不良と判定された人には栄養補助剤を渡し、回復までの過程をフォローできるよう、定期的にヘルスセンターに通うように促します。

4年間の活動を通じて、合計149,097人への栄養判定を行い、栄養不良であった12,565人に対して必要な栄養補助とフォローアップを行うことができました。

2015年～2018年実績(4年間合計)

	栄養判定実施数	フォローアップ・栄養補助実施数
6～59ヶ月児	119,479	10,366
妊婦・授乳婦	29,618	2,199
合計	149,097	12,565



また、ヘルスセンターにおける栄養指導において重要な役割を担う栄養アシスタントの能力向上、地域のヘルスボランティアの献身的な活動の結果、対象地域におけるMAM(中等度栄養失調)の割合が改善。2016年と2018年のMAMの割合を比較すると、5歳以下の子どもについては、**11.3%**から**5.6%**に減少。妊産婦・授乳婦については**9.8%**から**4.6%**に減少しました。

また、2018年12月の事業終了時には、「栄養不良」の子どもは4.95%、妊産婦・授乳婦は3.26%とWHO(世界保健機構)の定める水準を達成することができました。

03 水事業

【アルテケラット給水所】

期 間	2018年4月～7月
地 域	スーダン共和国北コルドファン州オムダム・ハージ・アハメド地域
建設地	アルテケラット村
対 象	建設地及びその近隣に居住する住民 7,000人、家畜4,000頭
実 績	新たな井戸の掘削、給水所の建設、地域への引き渡しを終了
今 後	アルテケラット村住人で組織される水委員会を主体として、給水所の管理・運営を行う

【オムサマーマ給水所】

期 間	2018年12月～2019年5月完成
地 域	スーダン共和国北コルドファン州オムダム・ハージ・アハメド地域
建設地	オムサマーマ村
対 象	建設地及びその近隣に居住する住民10,000人、家畜6,000頭
実 績	新たな井戸の掘削、給水所の建設が終了(2019年5月)
今 後	2019年8月に地域住民へのヘルスプロモーションイベントを予定

2018年度は、北コルドファン州オムダム・ハージ・アハメド地域のアルテケラット村、オムサマーマ村で井戸の掘削・給水所の建設を行いました。これまで私たちが北コルドファン州でWFPとの栄養改善事業を行ってきた中で、この地域が深刻な水不足に直面していることを認識し、人々の生命、健康に直結する安全な水を届けたいという思いから、本事業が始まりました。

給水所が作られたことにより、アルテケラット村では約7,000人、オムサマーマ村では約10,000人の住民が安全な水を利用できるようになりました。

これまで家の近くに給水所がないために、何時間もかけて水汲みに行っていた子どもたちは、近所に給水所ができたことで学校に行けるようになりました。また、重い水を運ぶ仕事は、小さな子どもや女性たちにとって大きな負担でしたが、その負担が軽減されたことも、喜んでくれました。



アワッド君のお母さんのアルダシーファさんは、アワッド君がいつも手伝いをしてくれるので助かっていると話します。「新しい井戸ができて、アワッドの負担が少なくなって良かったです。」

アルテケラット村では、井戸の完成後、村の住人により組織された水委員会が中心となって、給水所の管理・運営が行われています。オムサマーマ村では、これから保健省と水省、パートナー団体のSIDO、そしてロシナンテスが協働し、地域住民に対するヘルスプロモーションイベントを実施する予定です。新たに完成した給水所がきっかけとなり、住民の健康に対する意識の向上、さらに村の衛生状態の改善につながるよう努めていきます。



8歳のサーミ君。本来なら学校に行く年齢ですが、お父さんの許可が出ず、今はハルワというコーラン学校に行っています。

「この水場が出来て、家から近くなった！お父さんは、来年から学校に行っていって！なんだかかわからないけど、新しい水場になり、学校にも行けるようになって、とっても嬉しい!!」

「井戸ができる前は水汲みに1時間くらいかかっていたけど、今では20分くらいになった！将来は頑張って警察官になりたい!」



7歳のアワッド君、小学2年生です

【ザンビア事業開始準備】

2019年からご縁のあったザンビアで本格的に事業を開始するべく、視察を行いました。

【ザンビア視察】

視察第一回目／2018年8月4日～8月12日

ルサカ州ルサカ市／大統領夫人と面談、ザンビア大学付属
教育病院院長等と面談
中央州チサンバ郡／診療所を視察

視察第二回目／2019年3月24日～4月18日

ルサカ州ルサカ市／ザンビア保健省等と面談
ルサカ州・カフエ郡／診療所、母子保健推進ボランティアの
育成活動を視察
中央州チサンバ郡／診療所建設の現場を視察
コッパヘルト州マサイティ郡／
診療所、妊産婦ケア活動および若者への啓発教育活動を視察
南部州ジンバ郡／ジンバミッション病院を視察

ザンビア事業の今後

2019年度内の
ザンビア事業立ち上げを目指し、
ザンビアにおける法人登録、
保健省等カウンターパート
との協議を実施予定

2019



ロシナンテスの活動〔国内活動〕

01 清水寺での講演会

2018年3月から4月にかけて、音羽山清水寺様と協働で水事業のための「ロシナンテス水基金2018」を実施しました。スーダンの村落部に暮らす人々に水を届けたい、その想いに多くの方が共感して下さったおかげで、535万266円もの資金が集まりました。皆様に心より御礼申し上げます。

水基金実施に伴い、2018年4月15日、清水寺の大講堂で講演会開催の機会をいただきました。ありがたくも200人を超える参加者で会場は満員。スーダンから帰国中の川原より、スーダンの水事情や給水所建設にかかる思いをお話ししました。質疑応答では学生さんから「これから学生生活が始まる。将来、発展途上国の人々の役に立つために学生時代にできることはありますか」といったご質問も。心があたたまるとともに次代を担う方々への期待が膨らみます。

講演会終了後は、清水寺様のご厚意で「祈りの夜間特別拝観」が実施されました。ライトアップを受けて浮かび上がる清水寺と生命力を放つ若葉。活動を支えてくださる皆様への感謝と、スーダンの人々に清き水が届きますようにという願いを込め、水の化身である観音さまに合掌した静かな夜となりました。



02 活動報告会@東京

2019年2月24日、東京で活動報告会を開催しました。会場は、株式会社セントラルユニ様のご厚意でマッシュアップスタジオを利用させていただきました。「無医村に建設した診療所のいま、そして未来」と題した本会。2018年12月にスーダンへ出張した東京事務所スタッフより、写真や動画を交えながら現地の近況をご報告しました。



報告会終了後はマッシュアップスタジオの館内ツアーを実施。おかげ様で、スーダンの医療事情と“いい病院づくり”の最前線に同時に触れる機会が実現しました。

03 貴船神社に募金箱設置



2018年、水神である高麗神を祀る京都の貴布禰総本宮貴船神社に、ロシナンテスの水事業を対象とした募金箱が設置されました。川原はじめ事務局のスタッフが参拝したところ、ロシナンテスを紹介するポスターと募金箱は、参拝者なら誰もが訪れる拝殿に。人々がそれぞれの願いを胸に参拝する中、清浄な水を必要としているスーダンの人々にも思いを馳せ、多くの方が水事業に賛同して下さったことが分かりました。貴船神社様をはじめ、想いを馳せて下さった方々に心より感謝いたします。

04 大蔵小学校での特別授業

2018年11月15日、川原が北九州市立大蔵小学校を訪問。5・6年生の皆さんを対象に授業を行いました。川原からはスーダンという国、スーダンで活動を始めた経緯、スーダンと日本を比べて感じることを等とお話ししました。授業を受けた皆さんからの感想文には「イスラム教のイ



メージが変わった」「困っている人に協力したい」「スーダンの人々のように、生きていることに感謝したい」といった気づきや思いが綴られていました。未来をつくる子どもたちに伝えたかったこと。それを皆さんは各々の感性で受け止めてくださいました。

05 桜神宮での講演会

2019年3月21日、東京の桜神宮で講演を行いました。早咲きの河津桜が美しく花を咲かせた会場には、60人を超える参加者が集まってくださいました。本講演会では当日の運営ボランティアを事前に募集。会場の設営や、スーダン産のハイビスカスティー・カルカデの提供などをお手伝いいただきました。ボランティア活動を通じ、日頃からご支援いただいている皆様と交流を深めたり、初めての方にロシナンテスを知っていただいたりする機会を今後とも作っていく予定です。



06 キャリア説明会

ロシナンテスでは、事業を拡大・安定化し、必要な医療を受けることができない人々に医療を届けるため、人員体制の強化に努めてきました。新たなスタッフを採用するべく、2018年度はキャリア説明会を複数回実施。年度中に6名が入職しました。新規入職者のバックグラウンドは、国際協力分野で活動する他団体、青年海外協力隊、民間企業など様々。そんな彼女らには共通する思いがあります。「困っている人の役に立ちたい」。スタッフ一同、応援していただいている皆様や活動地の人々と心を一つに、前へ進んでまいります。



ご支援いただいた法人の皆さま



多くの皆さまの支えで、2018年度もスーダンへ「医」を届け続けることができました。
ご協力いただきました皆さまへ心から感謝申し上げます。

岩国ライオンズクラブ

株式会社 ウエスト

医療法人うかじ小児科医院

有限会社A.B.M.

エムスタイルジャパン株式会社

有限会社エムテッド

大阪うつぽロータリークラブ

社会保険労務士法人大竹事務所

有限会社お菓子のリーフ

音羽山 清水寺

株式会社オレスコーボレーション

税理士法人 神尾アンドパートナーズ

貴布禰総本宮貴船神社

グンゼラブアース倶楽部

健幸建設株式会社

医療法人社団佳有会品川イーストクリニック

昭立産業株式会社

株式会社鈴木工務所

株式会社セキュリティサンクス

一般社団法人仙台市医師会

タステック・レントリース株式会社

株式会社田園興産

東京浜松町眼科クリニック

トップ保険サービス株式会社

医療法人社団撫子高松メディカルクリニック

株式会社ハローデイ

日田ロータリークラブ

株式会社ブランカ

ブルークリニック青山

ペンション結(ゆい)

貿易のcolor合同会社

北海道通信ビル株式会社

公益財団法人毎日新聞西部社会事業団

村田クリニック

株式会社安川電機

YASKAWA未来クラブ

学校法人ラ・サール学園

宗教法人 臨済宗妙心寺派

株式会社ワーキングハセガワ

有限会社ワークス

※五十音順・敬称略

※10万円以上のご支援をいただいている企業、団体の皆さまを掲載しております。

[サービス協力等]

株式会社スターフライヤー

株式会社セントラルユニ

[助成金等]

風に立つライオン基金

TOTO水環境基金



写真：山崎順司

ロシナンテスは皆様の継続的なご支援を求めています。

継続的 寄付

クレジットカード

1,000円から

ロシナンテスのホームページからお手続きください。

銀行口座自動振替

1,000円から

所定の申込用紙を送付させていただきますのでロシナンテスまでご連絡ください。

(毎月・毎年の定額寄付で長期的な活動ができます)

今回 のみ 寄付

クレジットカード

1,000円から

ロシナンテスのホームページからお手続きください。

郵便局

恐れ入りますが、払込手数料をご負担願います

郵便局備え付けの払込取扱票をご利用いただくか、下記の口座へお払い込みください。

口座記号：01720-3 口座番号：74330 店名：一七九
加入者名：NPO法人ロシナンテス

銀行口座振込

恐れ入りますが、払込手数料をご負担願います

金融機関：福岡銀行 三萩野支店(みはぎの) 預金種類：普通
口座番号：1733240 口座名義：特定非営利活動法人ロシナンテス

ご注意

郵便局もしくは銀行口座へ振り込みされる方で、「領収書」をご希望の場合は必要項目を電話、FAXまたはメールでお知らせください。必要項目①振り込み日 ②振込者情報(お名前、ご住所) ③振り込み金額

ロシナンテスへのご寄付は、寄付金控除等の税の優遇措置を受けることができます。

例えば 個人で毎月1,000円クレジットカードで寄付した場合、総寄付額は、
1,000円×12か月=12,000円ですが、確定申告で税額控除の適用を
うけることで(12,000円-2,000円)×40%=4,000円が還付されるため、
実質年間ご負担額は、8,000円(=12,000円-4,000円)となります。

※これらを受けるためにはロシナンテス発行の「領収書」が必要です。

個人からのご寄付の場合

個人所得税の寄付金控除について

個人が各年において支出した認定NPO法人に対する寄付金で、その寄付額が2,000円を超える場合には、確定申告の際に所得税の寄付金控除として「税額控除」または「所得控除」のいずれかが選択適用できます。
※年間寄付額や所得税率などによって有利な選択が異なります。詳しくは税務署等にご確認ください。

個人住民税(地方税)の寄付金控除について

寄付者がお住まいの都道府県または市区町村が条例で指定した認定NPO法人等に寄付した場合に適用されます。
※お住まいの都道府県または市区町村にご確認ください。

寄付者《個人》

認定
NPO
法人

寄付金額-2,000円

寄付金控除
(所得控除または税額控除)

法人からのご寄付の場合

一般のNPO法人等に寄付した場合の「一般損金算入限度額」とは別枠の「特別損金算入限度額」が適用されます。なお、寄付総額が「特別損金算入限度額」を超える場合には、その超える部分の金額を「一般損金算入限度額」に算入することができます。

寄付者《法人》

認定
NPO
法人

一般の寄付金に係る損金算入限度額

+

認定NPO法人等に対する寄付金に係る損金算入限度額

遺贈をお考えの方へ

遺言によって、ご自身の財産の一部またはすべてを特定の個人や団体に与える遺贈。近年、認定NPO法人へ遺産を寄付したいと考える方が増えており、ロシナンテスもお問い合わせをいただくようになりました。

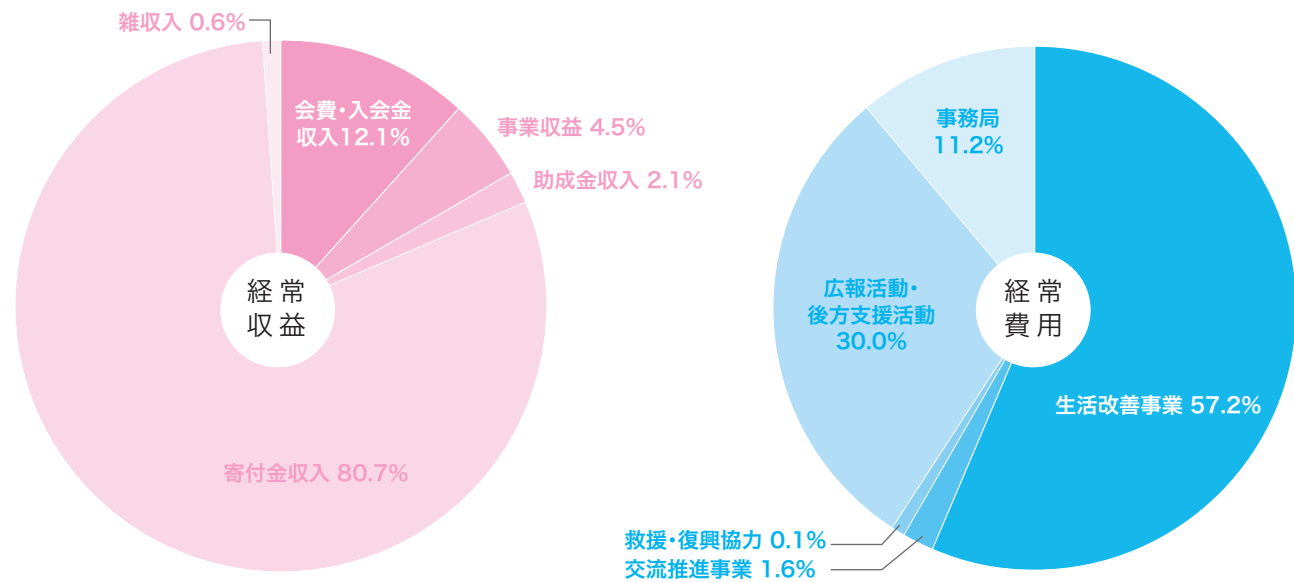
ロシナンテスでは「遺贈のご案内」(小冊子)をご用意しております。必要な手続きやよくある質問をまとめており、ご関心のある方に無料でお送りしています。
ご希望の方はロシナンテスまでお問い合わせください。

問合せ TEL:093-521-6470
(受付時間 平日10:00~17:00)
FAX:093-521-6471
info@rocinantes.org



故人様とご遺族の
やさしさを、
明日をつくる命へ。





活動計算書

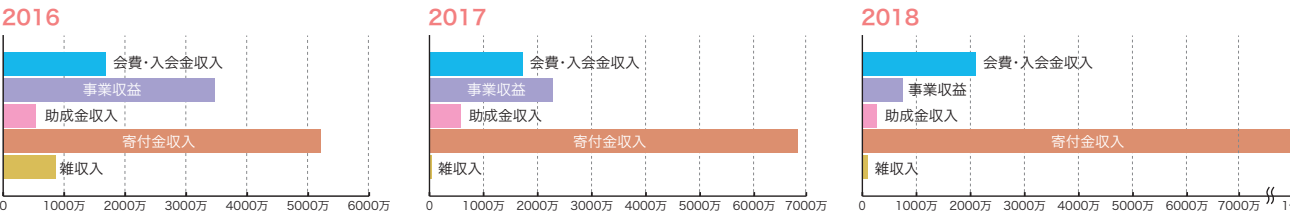
(単位:円)

經常収益	①会費・入会金収入	21,228,384
	②事業収益(受託事業収入:熊本大学ほか)	7,898,273
	③助成金収入	3,600,000
	④寄付金収入	141,272,333
	⑤雑収入	1,124,015
	經常収益計(A)	175,123,005
經常費用	海外活動費	
	①生活改善事業(保健医療事業、水衛生事業)	53,656,596
	②交流推進事業(人材交流事業)	1,519,158
	国内活動費	
	③救援・復興協力事業	88,882
	④広報活動・後方支援活動	28,114,289
	⑤事務局	10,466,866
	經常費用計(B)	93,845,791
為替差損(C)		11,235,414
法人税(D)		151,000
当期正味財産増減額(A-B-C-D)		69,890,800
前期繰越正味財産額		171,857,340
次期繰越正味財産額		241,748,140

収益推移

(単位:円)

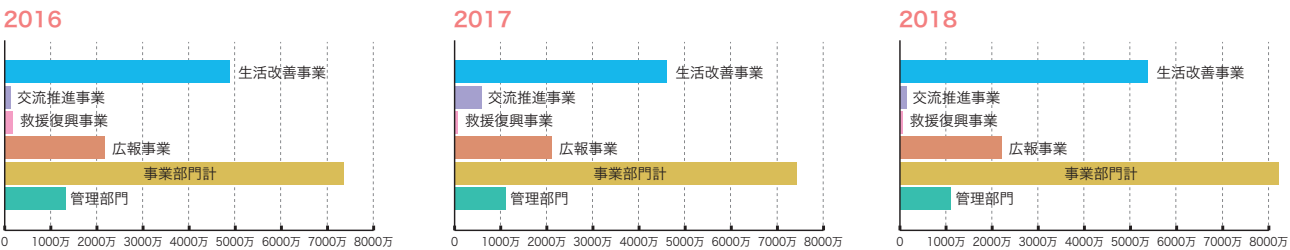
収 益	2 0 1 6	2 0 1 7	2 0 1 8
会費・入会金収入	16,751,923	17,912,438	21,228,384
事業収益(受託事業収入:熊本大学ほか)	34,719,233	23,831,077	7,898,273
助成金収入	5,380,670	6,000,000	3,600,000
寄付金収入	51,980,876	68,312,834	141,272,333
雑収入	8,610,649	312,601	1,124,015
合 計	117,443,351	116,368,950	175,123,005



費用推移

(単位:円)

費 用	2 0 1 6	2 0 1 7	2 0 1 8
生活改善事業	48,700,751	46,024,310	53,656,596
交流推進事業	1,397,885	5,634,225	1,519,158
救援復興事業	1,787,456	99,605	88,882
広報事業	21,705,298	23,741,011	28,114,289
事業部門計	73,591,390	75,499,151	83,378,925
管理部門	13,168,688	10,476,860	10,466,866
合 計	86,760,078	85,976,011	93,845,791



正味財産推移

2015年度決算 正味財産額	2016年度増減額	2017年度増減額	2018年度増減額	2018年度決算 正味財産額
130,544,490	37,609,401	3,703,449	69,890,800	241,748,140

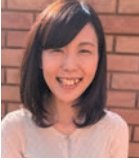
スーダン事務所



理事長 兼
スーダン現地代表
川原 尚行



オペレーション・
マネージャー
寺田 美知子



ロジスティック・
マネージャー
小川 和泉



プログラム・
コーディネーター
神野 志帆



総務/会計
ラビア



渉外
イブティサム



事業担当
インティサル



事業担当
タグワ



ドライバー
イスマツ



クリーナー
イルハム



総務/ビザ
アルタイプ 茜

北九州本部



支援者
リレーションズ
マネージャー
吉川 操



経理/総務
宮崎 毅



支援者
リレーションズ
塩田 愛



支援者
リレーションズ
切通 陽子

役員一覧

理事長 川原 尚行

副理事長 竹中 賢治

理事 片山 憲一

理事 高山 義浩

理事 武藤 義博

理事 海原 六郎

理事 星野 賢一郎

監事 樋上 弥寿子

監事 神尾 康生

東京事務所



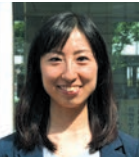
事務局長
星野 賢一郎



事務局長次長
宮崎 理恵



広報・
ファンドレイジング
マネージャー
立花 香澄



事業担当
堺 遥

組織概要

名称	特定非営利活動法人ロシナンテス
略称	認定NPO法人ロシナンテス
設立	2005年10月(NPO法人設立 2006年5月)
所在地	〒802-0082 福岡県北九州市小倉北区古船場町1番35号 北九州市立商工貿易会館7階

2018年度 メディア紹介一覧

新聞

毎日新聞(4/3)「清水寺と井戸募金 NPOロシナンテス スーダンで整備へ」／毎日新聞(4/6)「第43回 毎日・北九州フォーラム 川原尚行さん講演」講演会(北九州)告知／西日本新聞(4/13)「スーダンで医療支援「ロシナンテス」京都・清水寺と募金活動」／The Japan Times(4/21)「Naoyuki Kawahara: Helping Sudan heal with medicine and more」／毎日新聞(4/23)「第43回 毎日・北九州フォーラム 北九州から「医」を届ける」講演会(北九州)告知／朝日新聞(6/1)「清い水をスーダンに井戸 清水寺、北九州NPOに協力」／朝日新聞(6/1)「スーダンに井戸 清水寺と 北九州のNPO寄付受け「清い水を」」／毎日新聞(6/19)「医療・水道・教育が「医」 ロシナンテス川原理事長 スーダン支援を語る」／「スーダン医療支援 川原尚行さん語る」毎日・北九州フォーラムでの講演(ニカ所掲載)／毎日新聞(6/28)夕刊コラム:憂楽帳「ハチドリ」毎日・北九州フォーラムでの講演／毎日新聞(7/6)毎日・北九州フォーラムでの講演(6/18)の模様を紹介する記事／大分合同新聞(10/10)「日田RC記念講演 会員ら600人がNPOの活動学ぶ」大分県日田市での講演／西日本新聞(10/13)「スーダン支援「積み上げ大切」大分県日田市での講演

テレビ

J:COM北九州(7/1～15)「北九州人図鑑」※ケーブルテレビ局／広島テレビ(10/30)「街かど伝言板」広島講演会(11/4)の告知／KBCテレ

ビ(11/15)「熱血授業 スーダンで活動続ける医師 故郷・北九州市の小学校で」同日の北九州市内小学校での特別授業／NHK Eテレ(12/4)「先人たちの底力 知恵泉 人の役に立つには 社会事業家 賀川豊彦」／長崎国際テレビ(19/1/10)ニュース「国際貢献への思い 生徒に伝える」同日の長崎市内中学校での講演／RKB毎日放送(19/2/2)「池尻和佳子のトコワカ」

※2018年12月NHK中央放送番組審議会で川原理事長出演の「先人たちの底力 知恵泉 人の役に立つには 社会事業家 賀川豊彦」が取り上げられ、出席委員より高い評価を得る。

ラジオ

KBS京都ラジオ(4/11)「森谷威夫のお世話になります!!」／FM福岡(4/13)「モーニングジャム」／TBSラジオ(4/14)「大沢悠里のゆうゆうワイド土曜日版」／NACK5(4/28)「大野勢太郎の楽園ラジオ〜パワー全開!!〜」／CROSS FM(19/2/2・9)「冨永裕輔のなんでもゆーすけ!!」／ラジオ大阪(19/2/9・16)／ラジオ日本(19/2/14・21)「土曜のYOU」

雑誌・広報誌・書籍・その他

生存科学研究所講演会 誰のための医療か?:公益財団法人生存科学研究所「アフリカ・スーダンにて、地域住民参加での医療システム構築への挑戦」川原理事長による講演の記事／週刊日本医事新報 No.4913:株式会社日本医事新報社「スーダンの無医村に医療を届け

る」川原理事長によるロシナンテス活動紹介／ゆりあげ前進 もう一度 心をひとつにvol.2:一般社団法人ふらむ名取 東北での復興支援活動の紹介等／TOTO水環境基金 2017年度助成団体活動報告: TOTO株式会社 助成団体として紹介／週刊日本医事新報 No.4913:株式会社日本医事新報社 エッセイ「私の一曲」川原理事長がさだまささんの楽曲『風に立つライオン』を紹介／2018/2019 Weekly Report:東京西南ロータリークラブ「創造的国際協力」川原理事長による卓話の記事 ※ロータリークラブ会報／気生根 NO.57:貴布禰総本宮 貴船神社「スーダンに井戸を!ロシナンテスの活動を応援」水事業の紹介と貴船神社境内でのロシナンテスへの募金活動のご案内 ※貴船神社社報／中央区医師会報 第212号:福岡市中央区医師会 川原理事長による講演会の様子

2018年度 講演会・イベント実績

講演会

川原尚行 (4/6)日本外科学会シンポジウム(東京都) (4/15)清水寺(京都府) (6/12)大阪うつほロータリークラブ例会 (6/18)第43回 毎日・北九州フォーラム (6/21)アフリカ開発協会(東京都) (8/22)九州中央病院(福岡市) (10/6)日田ロータリークラブ創立55周年記念講演会(大分県) (10/11)日本新薬株式会社(京都府) (10/15)福岡市中央区医師会 (10/16)岩国ライオンズクラブ例会(山口県) (10/21)鎮魂と希望へのコンサート(平成30年7月豪雨の

被災地である広島県安芸郡坂町でのさだまさしさんチャリティーコンサートにて講演) (11/1)福岡県立玄海高等学校 (11/2)熊本県立八代高等学校 (11/2)ラ・サール学園(鹿児島県) (11/3) NPO法人若者・留学生サポートステーション響(鹿児島大学) (11/4)広島講演会(川原尚行先生を応援する会 広島) (11/6)東京西南ロータリークラブ卓話 (11/13)福岡県私立幼稚園振興協会(福岡市) (11/15)北九州市立大蔵小学校 特別授業 (11/16)第20回フォーラム「医療の改善運動」全国大会in北九州 (19/1/5) 医療法人社団天翠会 小倉きふね病院(北九州市) (19/1/10) 長崎市立青潮学園(小中一貫校の中学生対象) (19/1/12)大手前大学国際看護学部開設記念講演会(大阪府) (19/1/16)東京税理士会芝支部 (3/21)桜神宮(東京都)

星野賢一郎 (5/28)西南学院大学(北九州市) (10/19)関東明陵同窓会月例会(東京都) (12/3)小倉日新館中学校(北九州市)

広報イベント

(19/2/24)ロシナンテス活動報告会 ～無医村に建設した診療所のいま、そして未来～(東京都文京区:マッシュアップスタジオ) ナガサキピーススフィア貝の火運動 川崎ボランティアグループ パネル展「大切な命を守るために ～アフリカ医療活動の軌跡～」(9/28～10/1:川崎市多摩区役所) (10/9～11:川崎市中原市民館) (12/10～12:川崎市幸区役所) (19/2/4～8:川崎市高津区役所) (19/3/15～20:川崎市宮前市民館)